

第9回 東北復興 i-Construction 連絡調整会議を開催(R3.5.26)

東北地域全体で建設現場における生産性向上策のi-Constructionのさらなる普及に向け、産学官による意見交換や情報共有等を図るべく開催。新型コロナ対策として、web型式にて開催。

【議事】

- ①地元中小規模の企業がICT施工に取り組むための対応について
- ②地元経営者向けの説明会の開催について
- ③(仮称)i-Construction新技術体験学習会について



第9回 R3.5.26会議

◆出席者

【学識経験者】 東北大学大学院 高橋教授、皆川准教授

【国土交通省】 東北地方整備局

【自治体】 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市

【業界団体】 東北建設業協会連合会、日建連東北支部、埋浚協東北支部、東地協、日機協東北支部、建コン東北支部、日レン協東北協議会、道建協東北支部、建電協東北支部

【議事】①地元中小規模の企業がICT施工に取り組むための対応について

- ・【東北地整】 簡易チャレンジ型ICT活用工事（サポート体制）
- ・【青森県】 あおもりICT施工推進事業（人材育成）
- ・【岩手県】 ICT機器等導入経費の補助金の紹介（設備投資費用）
- ・【宮城県】 ICT導入に踏み出す建設業・測量設計業のための講習会（その他）
- ・【秋田県】 ICT活用モデル工事に関する技術支援業務（サポート体制）
- ・【福島県】 ICT活用工事チャレンジ支援事業（サポート体制）

各発注機関で、現状の課題に対して様々な取り組みを紹介。他の取り組みを参考にし、更なるICT普及促進に取り組んでいくことで意思疎通を図った。

【議事】③(仮称)i-Construction新技術体験学習会について

- ・【東北地整】 学習会開催の主旨、開催内容等(案)を説明
- ・【業界団体】 開催について賛同する。
何かしらの補助等金額的協力をいただきたい。
座学と現地での最新技術に触れることの両方を学んでいただくのが良い。

学校では学びきれない現場での技術を体験いただき、建設業の魅力を感じていただけるように、各団体に協力いただきながら今後調整していく。

【議事】②地元経営者向けの説明会の開催について

- ・【東北地整】 説明会開催の主旨、講師選出協力、受講者選出協力、開催内容等(案)を説明
- ・【業界団体】 講師派遣、受講者募集へ協力する。
経営者としては、費用負担が一番気になる場所。
ICTを導入するにあたっての不安を払拭するための説明会として欲しい。
県毎開催(講習会方式)が一番伝わりやすい。

地元企業経営者の背中を押す良い取組なので、今年度初冬に開催に向けて、各団体に協力いただきながら今後調整していく。

今後の課題

- ・説明会、講習会については、対面式も良いが、web型式もメリットがある(何度も見られる等)ため、今後開催にあたっては工夫をしていく。
- ・ICT導入の効果について数値で示していく必要がある。効果が上がらない場合はどのようにしていくかPDCAサイクルをしっかりと回していく。